

# 光明山古墳発掘通信 N°4

浜松市文化財課（浜松市地域遺産センター） 2018年11月8日

光明山古墳の発掘調査、再び始めました。

11月から光明山古墳の発掘調査を再開いたしました。今回の調査目的は、古墳の全長解明。後円部の先端と前方部の斜面及び先端に調査区を設け、正確な規模の把握を目指します。

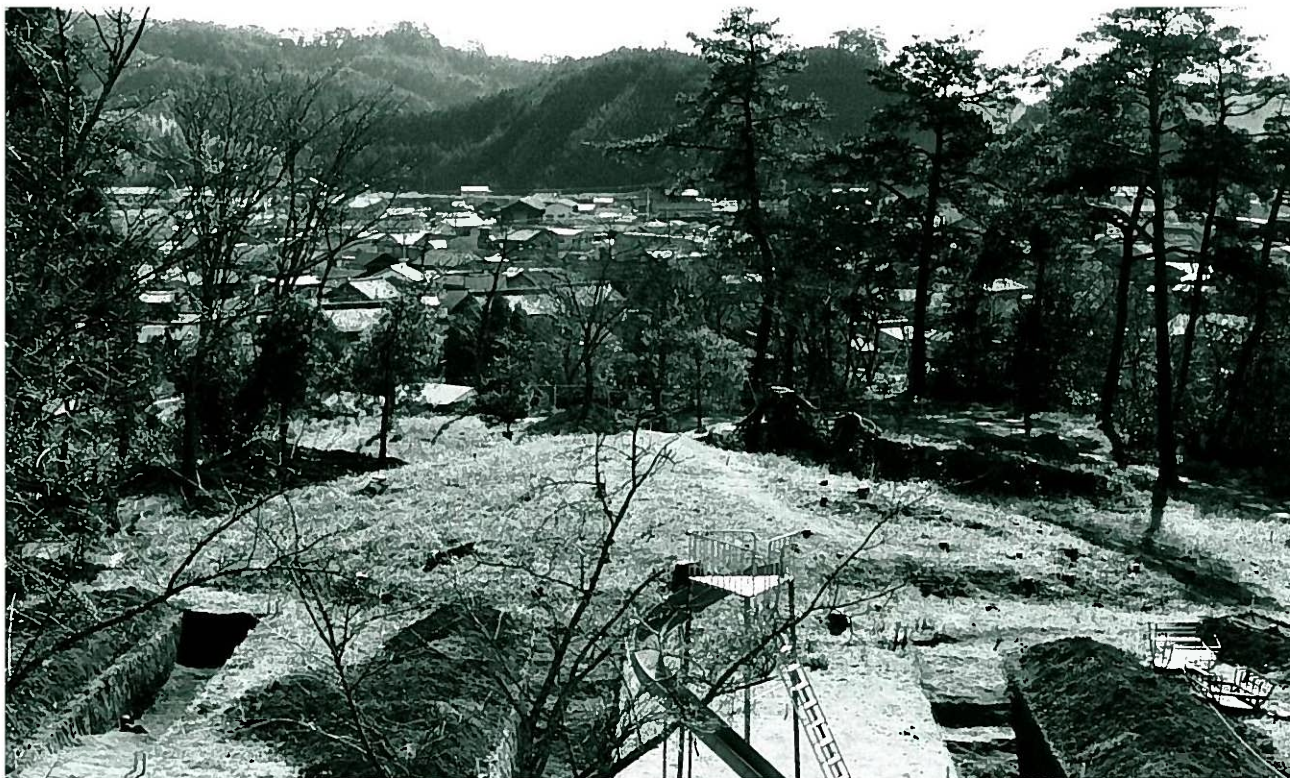


前方部の調査風景 前方部も後円部と同様、2段につくられていた可能性が高く、その詳細を探っています。





前方部斜面の調査状況 前方部斜面にも葺石がみられます。葺石の残存状況を確認するため、慎重に調査を進めます。



光明山2号墳の調査状況（1971年撮影）。前方後円墳（1号墳）の南には光明山2号墳があります。1971年の調査状況から、この古墳は直径32mの円墳で、南側には造り出しと呼ばれる突出部があることが判明しています。

**【現地説明会のご案内】**

- ◆ 11月23日（祝・金）に市民向けの現地説明会を行います。  
午前10時から、午後1時30分から 申込不要 直接現地へ

**【調査中は発掘調査現場をご見学いただけます】**

- ◆ 11月下旬までの調査期間、来訪者の方には調査状況を紹介いたします。  
※雨天時は休工します。  
※都合により作業を休止することがあります。  
※発掘調査現場には段差や傾斜等があり、大変危険です。無断での立ち入りはご遠慮ください。

